

# 日本社会情報学会通信

Vol.21 No.2 2006.4.1

## 日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp)

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

\* 本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

## 日本社会情報学会(JASI) 第21回全国大会(JASI・JSIS 合同大会)開催要綱

第21回全国大会の開催要綱が、3月17日開催理事会において、下記の通り基本の開催内容が報告されました。

本年度は、日本社会情報学会(JSIS)との合同大会として、例年にもまして盛大な大会となる予定です。会員の皆様におかれましては、少し先のことになりますが、今からご予定を賜りますようお願い申し上げます。合同大会でありますため、両学会の調整のため、以下のプログラムに若干の変更が生ずる場合があります。具体的な詳細については、「全国大会プログラム」でご案内します。(8月初旬)

- 【主催】 日本社会情報学会(JASI)  
日本社会情報学会(JSIS)
- 【開催期日】 2006年9月12日(火)～14日(木)  
・JASI 会員総会
- 【会場】 学習院大学 東京都豊島区目白1-5-1  
[http://www.gakushuin.ac.jp/m\\_map/index2.html](http://www.gakushuin.ac.jp/m_map/index2.html)
- 【テーマ】 「社会情報学とは何か」

### 【開催要綱】

- \* 1日目[9月12日(火)](予定)  
開会セレモニー  
基調講演  
自治体ワークショップ  
基調シンポジウム  
会員総会 \*平成18年度学会賞表彰  
懇親会
- \* 2日目[9月13日(水)](予定)  
特別講演  
研究発表  
合同企画  
その他
- \* 3日目[9月14日(木)](予定)  
学習院共催シンポジウム  
その他  
大会総括・会長・次期開催校挨拶  
閉会

### 1. 大会組織委員会

- 会長 遠藤 薫(学習院大学)  
委員  
廣松 毅(東京大学)  
須藤 修(東京大学)  
小菅 敏夫(電気通信大学)  
福田 豊(電気通信大学)  
前田 隆正(「あすのまち・三鷹」推進協議会)  
和泉 恵子(学会事務局)

### 2. 日本社会情報学会合同全国大会実行委員会

- 委員長 遠藤 薫(学習院大学 教授)  
副委員長 平野 浩(学習院大学 教授)、中田 喜万(学習院大学 助教授)

委員 自治体ワークショップ・基調シンポジウム編成担当者など

3. プログラム委員会

委員長 平野 浩 (学習院大学 教授)

副委員長 中 田 喜万 (学習院大学 助教授)

委員 座長・コメンテータ担当者など

4. 大会事務局 学習院大学 法学部政治学科 遠藤研究室

## 第 21 回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 廣松 毅

第 21 回全国大会におきます研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1 件につき 30 分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第 21 回全国大会におきます研究発表につきましては、9 月下旬に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第 9 回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第 8 回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様方の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日 時	:	2006年9月12日(火), 13日(水), 14日(木)
会 場	:	学習院大学 〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1
案 内	:	<a href="http://www.gakushuin.ac.jp/m_map/index2.html">http://www.gakushuin.ac.jp/m_map/index2.html</a>
発表申込締切	:	2005年5月26日(金)
論文集原稿締切	:	2005年6月30日(金)
大会事務局	:	第21回全国大会事務局

### (1) 発表申込要領

#### 1. e-mail で申込の場合

申込書ダウンロードサイト : <http://www.soc.nii.ac.jp/jasi/> (学会 HP)

申込書送付先 : [kaoru.endo@gakushuin.ac.jp](mailto:kaoru.endo@gakushuin.ac.jp)

#### 郵送申込の場合

別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、そのコピー 1 部 (計 2 部) とともに、返送先宛名を記入した官製ハガキ 1 枚 (採否結果通知用) を同封し、下記宛ご送付ください。

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 学習院大学法学部共同研究室 (遠藤) 気付

日本社会情報学会・全国大会事務局 行

【問合せ先】TEL 03-3986-0221(内)4917 FAX 03-5992-1006 E-mail : [kaoru.endo@gakushuin.ac.jp](mailto:kaoru.endo@gakushuin.ac.jp)

2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果をお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

### (2) 研究発表論文原稿執筆要領

#### (a) 原稿作成について

1. A4 版、4 ページで図表を含みます (4 ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端 25mm、下端および左右 20mm で作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿は B5 版に縮小し、写真製版します。
3. 原稿の 1 ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100 語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に 印を付して下さい。

#### (b) 原稿の送付について

1. 必着期限(6月30日)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿の電子ファイル(WORD ファイルまたは PDF ファイル)を下記電子メールアドレスへお送りください。

原稿送付先電子メールアドレス : [kaoru.endo@gakushuin.ac.jp](mailto:kaoru.endo@gakushuin.ac.jp)

3. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会 (J A S I) に帰属するものとします。

**\* 5月26日(金) 必着**

日本社会情報学会  
第21回全国大会研究発表申込書

**発表申込者連絡先**

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

**論題・発表者・発表用機器**

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属) *当日の発表者に を付す	1	2
	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに を付す) 1. 液晶プロジェクタ(パソコン, 同付属のコネクタはご持参下さい) 2. その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には, 大会事務局にご相談下さい)		

**要 旨 (200字以内・なるべく手きはお避け下さい)**

\*キーワード(5つ程度、必ず記入)

## 平成18年度・学会賞候補推薦について

平成18年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。  
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会  
委員長 小菅 敏夫

### < 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	18年4月14日(月)
優秀文献賞	18年5月26日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	18年6月30日(金)
社会情報システム貢献賞	同 上
*「秋山穰賞」	

\*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

今年度は、別記の通り、総会・全国大会の開催日が9月12,13,14日に  
予定されていますので、各賞推薦の締切日が早まっていますのでご留意  
下さい。

#### [ 功労選考委員会 ]

選考区分： ・学会功労賞  
・社会情報システム貢献賞

#### [ 文献論文選考委員会 ]

選考区分： ・優秀文献賞  
・優秀論文賞  
・論文奨励賞  
・大学院学位論文賞  
・研究発表賞

各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。  
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰  
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成17年12月1日  
\* 17/12/1発行学会通信の再掲

## 日本社会情報学会

### 第9回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会  
会長 遠藤 薫

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成17年4月1日～平成18年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

(1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)

(2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

(3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

#### 記

1. 受付期限 平成18年4月14日(金)\*必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)  
同学位審査要旨四通  
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。  
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

### 表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[ 推薦者 ] ( 氏名 ) \_\_\_\_\_ 印  
( 所属 ) \_\_\_\_\_  
( 連絡先住所 ) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX. : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

#### 記

[ 推薦論文名 ] \_\_\_\_\_

[ 学位取得者氏名 ] \_\_\_\_\_

[ 学位授与研究科・専攻名 ] \_\_\_\_\_  
大学 \_\_\_\_\_ 研究科  
\_\_\_\_\_ 専攻

[ 推薦区分 ] ( ) 内に○印を付してお示し下さい。  
( ) 修士論文 ( ) 課程博士論文 ( ) 論文博士論文

[ 推薦事由 ]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：



平成18年4月1日

## 日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会  
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成14年10月1日以降と致します。

### 記

1. 受付期限      平成18年5月26日(金)必着
2. 推薦先        日本社会情報学会 会長 遠藤 薫  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式      学会指定の推薦用紙にて、一件一文献  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格   本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会  
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[ 推薦者 ] ( 氏名 ) \_\_\_\_\_ 印  
( 所属 ) \_\_\_\_\_  
( 連絡先住所 ) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[ 推薦文献名 ] \_\_\_\_\_  
出版社等名称 : \_\_\_\_\_  
発行年月日 : \_\_\_\_\_  
[ 表彰候補者名 ] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_  
[ 推薦事由 ]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成18年4月1日

## 日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会  
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3)優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成18年10月1日以降と致します。

### 記

1. 受付期限 **平成18年5月26日(金)必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 遠藤 薫  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通。(論文の抜き刷りないしコピーで結構です)
5. 推薦者資格 本学会正会員。

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会  
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[ 推薦者 ] ( 氏名 ) \_\_\_\_\_ 印  
( 所属 ) \_\_\_\_\_  
( 連絡先住所 ) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[ 推薦論文名 ] \_\_\_\_\_  
[ 表彰候補者名 ] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_  
[ 論文掲載誌名 ] \_\_\_\_\_  
発行学会等名称 \_\_\_\_\_  
第 \_\_\_\_\_ 巻 , 第 \_\_\_\_\_ 号 , \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ ページ  
[ 推薦事由 ] \_\_\_\_\_

受付 : 平成 年 月 日

受付者氏名 :

平成 年 月 日

日本社会情報学会  
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[ 推薦者 ] ( 氏名 ) \_\_\_\_\_ 印  
( 所属 ) \_\_\_\_\_  
( 連絡先住所 ) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[ 推薦論文名 ] \_\_\_\_\_  
[ 表彰候補者名 ] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_  
[ 論文掲載誌名 ] \_\_\_\_\_  
発行学会等名称 \_\_\_\_\_  
第 \_\_\_\_\_ 卷，第 \_\_\_\_\_ 号， \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ ページ  
[ 推薦事由 ] \_\_\_\_\_

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

## 日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い [学会功労賞][社会情報システム貢献賞]

平成18年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会  
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成17年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成18年6月30日(金)必着**
2. 推薦先 **日本社会情報学会 会長 遠藤 薫**

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062

3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞  
本学会の発展に著しく功労のあった者。
- (2) 社会情報システム貢献賞  
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体。



## ☆ 理事会報告 ☆

### 【第1回理事会報告】

日時 平成17年11月7日（月）18:00-20:00

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 22名（順不同敬称略）安藤、今井、内山、遠藤、太田、小郷、五藤、小林、刀川、小向、須藤、茶谷、富永、富山、中井、平野、廣松、福田、藤原、前田、田村、和泉

### 議事

1. 平成18年度役員・各委員会の構成について
2. 平成18年度各委員会の運営および事業計画について
3. 平成17年度収支決算報告
4. 平成17年度特別会計報告
5. 退会、新会員の入会承認
6. 全国大会の報告
7. その他学会運営に関する事項

### 配布資料

1. 総務委員会報告
2. 企画委員会報告
3. 情報政策研究会報告
4. 学術委員会報告
5. 表彰委員会報告
6. 平成17年度特別会計報告
7. 全国大会資料
8. 政策研究学会連合会合の議事要録
9. 第12回社会情報システム学シンポジウム
10. JASI年間予定表
11. 地域貢献シンポジオン（電気通信大学）

### 回覧資料

1. 平成17年度総会議事録
2. 平成17年度収支決算書
3. 日本学術会議協力学術研究団体 新体制移行措置 申込書
4. 新会員入会申込書8名および減額申請書1名
5. 社会情報学フェア参加者一覧
6. 第20期日本学術会議会長、副会長就任挨拶状

### 議事内容

1. 遠藤会長より、18年度役員体制として須藤副会長、廣松副会長、福田企画委員会委員長、廣松学術委員会委員長、前田常任理事および情報政策研究会担当、小菅表彰委員会委員長就任の報告があり、全員一致により承認された。  
総務委員長の選出については、遠藤会長一任とすることが承認された。
2. 資料1に基づき、事務局より会員内訳、収支の報告があった。
3. 資料2に基づき、福田企画委員会委員長より、18年度事業計画の説明がなされた。  
委員構成については、会員MLを活用した公募と委員長推薦による選出が承認された。
4. 資料3に基づき、前田常任理事より、事業計画、情報交流会についての報告がされた。
5. 資料4に基づき、廣松学術委員会委員長より、委員会構成、事業計画の報告がされた。
6. 資料5に基づき、小林理事より、委員構成、事業計画について報告がされた。  
学位論文についての課題が報告された。
8. 資料6に基づき、事務局より平成17年度特別会計秋山基金および全国大会が提示、承認された。
9. 資料7に基づき、小郷理事より全国大会の報告と収支が提示、承認された。



- 10 資料 8 に基づき、太田理事より、日本学術会議 経済政策研究連絡委員会に付属する学協会から 18 名参画の政策研究会連合会合の概要が報告された。
- 11 配布資料 9 に基づき、太田理事より第 12 回社会情報システム学シンポジウム開催の説明がされた。
- 12 資料 10 に基づき、次回理事会は 1 月 23 日 (月) とすることとした。
- 13 その他として資料 11 に基づき、福田理事より地域貢献シンポジオン (電気通信大学) の案内として会員 ML 配信を承認した。

その際、学会の共催、後援、協賛における内規および手続きについて意見交換があった。総務委員会を経て内規整備を進めるとともに、現状手続き等を HP へアップすることとした。

次回は 1 月 23 日 (月) 18:00 会場未定 新年会を兼ねた会合とする。

### 【第 2 回理事会報告】

日 時 平成 18 年 1 月 23 日 (月) 18:00-21:00

会 場 VICTORIAN PUB THE ROSE & CROWN 新宿 N S ビル店

出席者 15 名 (順不同敬称略)

安藤、今井、遠藤、五藤、小林、刀川、茶谷、富山、中井、平野、廣松、福田、藤原、前田、和泉  
議 事

1. 委員会報告
2. 全国大会について
3. 横幹連合理事推薦
4. 会員休会の規定
5. その他

配布資料

- 1 平成 18 年度第 1 回理事会議事録
- 2 総務委員会報告
- 3 情報政策研究会報告
- 4 学術委員会報告
- 5 企画委員会報告
- 6 第 20 回全国大会決算書改訂版
- 7 JASI 年間予定表

回覧資料

- 1 第 1 回横幹連合コンファレンス開催報告
- 2 第 2 回情報セキュリティ学際シンポジウム投稿論文概要集
- 3 平成 18 年度科学研究補助金 研究成果公開発表計画調書
- 4 新会員入会申込書 2 名
- 5 部会設立申請書 情報社会経済システム研究部会

- 1 資料 1 に基づき、第 1 回理事会議事録が承認された。
- 2 資料 2 に基づき、事務局より会員内訳 (会費納入状況・支部別会員数等)、1 月 23 日現在の収支、入会・退会が報告された。
- 3 資料 3 に基づき、前田常任理事より第 44 回情報政策研究会および情報交流会の報告がされた。
- 4 資料 4 に基づき、廣松学術委員長より報告がされた。全国大会予稿の 2004 年度までは J-STAGE 化を完了し、2 月 3 日より公開予定。2005 年度についても早急に対応することが報告された。

3 月 2 日開催シンポジウム「情報化による社会変動と新たな制度デザイン」へ  
挨拶 1 名 (遠藤)、報告者 3 名 (遠藤、廣松、富山)、パネリスト 2 名 (遠藤、富山) を学会より選出することが承認された。

配布資料 5 に基づき、情報社会経済システム研究部会 (主査・福田豊) 設立が承認された。

小林理事より、学位論文募集について周知があった。

- 5 資料 5 に基づき、福田企画委員長より委員会構成、平成 18 年度科学研究補助金 研究成果公開発表計画調書応募、定例研究会開催案の報告がされた。

前年度からの継続協議事項の減額会員を対象とした研究会設置について意見交換がなされ、今後、安藤理事が担当し、企画、学術量委員会において連携し、継続協議することが報告された。

6 資料6に基づき、第20回全国大会において以下の修正2件を承認した。

① 郵送・宅配費は850円減って、60860→60010円

② 残余额が850円増えて、53682→54532円

次回第3回理事会は3月17日（金）18:00 学習院大学にて開催。

## 研究会報告

### [第 45 回情報政策研究会] 予定

日 時 平成 18 年 4 月中旬

会 場 未定

テーマ 「2006 年 新たな IT 戦略 ポスト e-Japan」(仮題) ~ ICT を活用した住民参画の促進 ~

### [第 46 回情報政策研究会] 予定

日 時 平成 18 年 6 月

会 場 未定

テーマ 「IT 業界の今後の進展と課題」(仮題)

講 師 経産省・経団連

### [第 47 回情報政策研究会] 予定

日 時 平成 18 年 8 月

会 場 未定

テーマ 「海外の IT 化事例 / セキュリティー」(仮題)

講 師 シマンテック

### [第 101 回定例研究会] 予定

テーマ 「地域情報化にシニア参加の道 ~ その経験から仕組みと展望を考える」

趣旨

シニア SOHO はシニア(元気な高齢者)の社会参加のプラットフォームとして、多数の地域情報化事業を行政や企業と「協働」で参加してきた。シニアと地域の役割が大きく変わった今、向き合っているものは何かを考えたい。

日 時: 平成 18 年 4 月 28 日(金) 15:30 ~ 17:00

プログラム

15:00 開場・受付開始

15:30-17:00 講演

講師 堀池 喜一郎(シニア SOHO 普及サロン 三鷹 顧問)

会 場: 電気通信大学スカイオフィス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 15 階

ナジックプラザ(株式会社学生情報センター)内

<http://www.kikou.uec.ac.jp/skyoffice/skyoffice-index.htm> 参照

主 催: 日本社会情報学会(JASI)ISAC研究部会

定 員: 50名(一般参加可)

\* 申込戴いた方へ、お断りの連絡がない場合は定員内です。

締切日: 4月21日(金)

参加費: 無料

申込・問合せ: 日本社会情報学会事務局まで、氏名・所属を明記のうえ

e-mailまたはファックスをお願いします。

e-mail: [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp) FAX: 0422-40-2062

**[第 102 回定例研究会] 予定****趣旨**

情報通信技術（ICT）の高度化に伴うアプリケーションの多様化は、情報セキュリティ技術の発達に支えられ、環境としての情報空間を多層化し、地域社会における新たなコミュニティ形成の可能性を引き出して来ている。しかしながら、その一方で、情報の遍在は社会に内在するリスクをあぶり出し、実態のつかめない不安を駆り立てながら、安全（セキュリティ）・安心（セイフティ）への関心を喚起している。そして、このような実体なき不安に対し、監視の目を強化して安全を確保しようとしている。そこには、安全と自由のトレードオフ関係が存在するとともに、誰が何を監視するのかといったコントロールの構図が浮かび上がってくる。

本研究会は、情報技術の発達に伴って提起される「情報」のコントロールの問題が、社会の安全と人々の安心とにどのような影響をもたらしているのか、それへの対処はいかにあるべきか、を多角的な観点から議論する場を提供し、情報社会に内在する問題についての認識を共有することを目的として開催する。そこでは、情報社会における人権と倫理といった根源的な問題も浮き彫りにされるとともに、「安全・安心」を支える「信用・信頼」の構築といった社会構成の基本原則にも触れることになるかもしれない。

**スケジュールおよび概要**

日時：平成 18 年 5 月 20 日（土）13:30-17:00

会場：県立長崎シーボルト大学（長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1 - 1 - 1）

<http://www.sun.ac.jp/access/index.html>

（長崎県立大学（長崎県佐世保市川下町 123 番地）遠隔講義システムによる同時開催を検討中）

<http://www.nagasakiu.ac.jp/guidance/access/index.php>

主催：日本社会情報学会（JASI）

共催：日本社会情報学会（JASI）九州支部

協賛：情報通信月間推進協議会

定員：100名程度（なるべく事前申込をお願いします）

締切日：5月15日（月）

参加費：無料

申込・問合せ：日本社会情報学会事務局まで、氏名・所属を明記のうえ

e-mailまたはファックスをお願いします。

e-mail: [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp) FAX: 0422-40-2062

テーマ 「情報通信技術が築くプライバシーとセキュリティ～安全と管理の狭間でゆれるリスク社会を考える～」

**プログラム**

13:00 会場・受付開始

13:30-14:30 基調講演 1 「情報セキュリティ文化の普及と人材育成」

辻井重男（情報セキュリティ大学院大学）

デジタル化とネットワークの浸透が、社会構造や機能をどのように変えつつあるかについて考察した上で、技術、管理・経営、法制度、倫理の統合からなる情報セキュリティの全体像を示し、情報倫理を基底とするその体系化を論じ、情報セキュリティ文化の普及と人材育成を如何に図るかについて述べる。

14:40-15:40 基調講演 2 「情報社会の人権と倫理」

松井修視（関西大学）

情報法の観点から、u - Japan 政策で打ち出されたユビキタスネット社会の「10の大分類による課題」や「優先的に解決すべき21の課題」に焦点をあて、新たな情報社会と倫理の近未来について考える。

15:40-16:00 休憩

16:00-17:00 パネル・ディスカッション

テーマ「情報経済社会における安全・安心と信用・信頼」  
コーディネーター 河又貴洋（県立長崎シーボルト大学）  
パネリスト 辻井重男（情報セキュリティ大学院大学）  
松井修視（関西大学）  
財部忠夫（中村学園大学）  
他数名(未定)

17:00 閉会

### [第 103 回定例研究会] 予定

#### 趣旨

情報化がそこから始まり、今でも情報化の基盤を形成し、強力なドライビングフォースを発生させているのが、社会経済領域である。この領域における情報化の在り方は、単に経済システムの進化方向を定めるだけでなく、文化領域における情報化や、公共領域、コミュニティや生活領域における情報化の在り方に大きな影響を及ぼす。

本研究会は社会経済システムの情報化の分析を通じ、情報化の意義と射程を検討することを目的の一つとする。また、情報技術による新たな社会システム構築（社会経済のパラダイム転換）を現実的に支える主体の形成要件について、A B T（Activity- Based Trust/行為に基づく信頼）基盤形成の観点から問題提起をすることをもう一つの目的とする。

#### スケジュールおよび概要

日時： 平成 18 年 6 月 10 日（土）13:00-16:30

会場： 大阪大学コンベンションセンター（吹田）会議室 1

〒565-0891 大阪府吹田市山田丘 1-1

<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/jp/maps/suita-conventionc.html>

主催： 日本社会情報学会(JASI)

共催： 日本社会情報学会(JASI)関西支部

協賛： 情報通信月間推進協議会

定員： 100名（なるべく事前申込をお願いします。当日参加若干名）

\* 申込戴いた方へ、お断りの連絡がない場合は定員内です。

\* 当日参加は定員になり次第、締め切らせていただくことをご了承ください。

締切日： 6月5日（月）

参加費： 無料

申込・問合せ：日本社会情報学会事務局まで、氏名・所属を明記のうえ

e-mailまたはファックスをお願いします。

e-mail: [jasii@jade.dti.ne.jp](mailto:jasii@jade.dti.ne.jp) FAX: 0422-40-2062

テーマ 「情報経済のパラダイムシフト 次世代社会経済システムを担う主体とは 」

#### プログラム

12:30 会場・受付開始

13:00-13:05 会長挨拶 遠藤 薫（学習院大学）

13:05-13:10 司会挨拶 小郷直言（大阪大学）

13:10-14:00 研究発表1 「インターネット時代の市民社会ガバナンス」  
- カリフォルニア：NPO型ベンチャー型モデル -  
岡部一明（東邦学園大学）

14:00-14:50 研究発表2 「これからの豊かさ」とは何か - 21 世紀の科学技術と社会はどうなる -  
佐和隆光（京都大学）

14:50-15:00 休憩

15:00-16:30 シンポジウム

テーマ「情報経済のパラダイムシフト 次世代社会経済システムを担う主体とは 」

コーディネーター 福田 豊（電気通信大学）

パネリスト 佐和隆光（京都大学）

岡部一明（東邦学園大学）

他 1 名(未定)

16:30 閉会

## 委員会報告

### [総務委員会]

#### [1]第1回総務委員会

日時 2月13日(月) 18:20-19:50

会場 東京大学大学院情報学環本館 10階応接室

出席者 5名(敬称略・順不同) 須藤、前田、榊、後藤、和泉

#### 議題

- 1 会員休会の内規
- 2 年度移行について(現行の10月から4月への移行)
- 3 共催・後援・協賛の内規
- 4 外部団体からのHPリンクの内規
- 5 過年度未納会員への除名に関して
- 6 学会NPO法人化
- 7 その他

#### 議事概要

- 1 会員休会については内部規定を設けないことを委員会として提案することを承認した。
- 2 年度移行については、本年10月より来年3月までの1年半を1期とし、会費は半年分(19年度)、翌年度分(20年度)と併せて徴収する案を承認した。
- 3 後援・協賛については、企業の場合、原則として団体会員であるか、加入の予定があること。また理事、会員の推薦を必要とするなどの工夫が必要。  
共催については、学術委員会マターとする。
- 4 外部団体からのHPへのリンク依頼についての内規は設けない。ただし後藤委員よりリンクポリシー案およびリンク申込フォームが提示されることとなった。
- 5 会費滞納による会員除名に関しては、会費規則の文言を下記のような改訂案とすることを承認した。これにともない、定款、会員規則の改訂を次回理事会で提案することを承認した。  
除名を行う 退会とみなすことが出来る
- 6 学会NPO法人化  
メリット、デメリットについて、継続的に協議していくことを確認した。
- 7 その他  
全国大会論文募集に関するウェブシステム構築の提案。

### [情報政策研究会]

#### [1]第1回会合

日時 06.2.3(金) 17時~19時

会場 三鷹ネットワーク大学 研修室 (三鷹駅前協同ビル3階)

参加 前田隆正(三鷹市) 茶谷達雄(都市情報システム研究所)

山本秀男(一橋大学) 加藤茂(セコムトラストネット)

藤田弥生(NTTデータ) 平林幹朗(キャリアアップ企画)

#### [検討・意見交換項目]

1. 前年度のレビュー(反省課題から、対策へ) テーマ/講師/形式/参加者・・・  
参加者減少/団体会員数減少(経費縮減、他)、非会員の参加、IT業界の業績停滞  
テーマ・内容/テーマ・講師の魅力、本研究会の目的

開催時期・回数、他

2. 今後の計画について提案と討議 テーマ/講師/形式/参加者/参加費/予算・・・

< 検討テーマ候補 >

- ・ 政府施策（総務省、経産省、国交省、文科省、厚労省）/平成18年度  
    <e-Japan、u-japan、電子政府・電子自治体関連>
- ・ LASADIC ・自治体先導的事例 ・団体会員の先導的事例
- ・自治体課題 ・環境 ・セキュリティー ・EA ・ユビキタス
- ・行政改革 ・新IT進展 ・2007年問題 ・地域コミュニティー
- ・介護福祉医療情報化 ・職員研修 ・住基関係（LGW）
- ・自治体統廃合 ・SOHO ・携帯電話、PHS、PDA ・海外事例

（会員に役立つ魅力あるテーマ設定）

原点に戻り、政府施策を中心に企画/施策：次年度施策、新規施策

民間が呼べない講師選定、海外のIT・情報化事例

テーマにより、団体会員以外への案内、開催回数（年間4回）

IT業界が元気になる施策・パイが大きくなる施策（中小企業等）、他

< 研究会企画の基本的な考え方 >

下記の対象団体を出来るだけ順番に、時流に沿ったテーマ・講師を設定する。

- 1) 経済産業省、総務省
- 2) 国土交通省、文部科学省、厚生労働省
- 3) 経団連、地方自治情報センター、自治体
- 4) 他

3. 今後の研究会企画（案） 日時、会場、テーマ、講師、形式、担当

\* 第2回（45回） （担当：平林）

テーマ：「2006年 新たなIT戦略 ポスト e-Japan」(仮題)  
～ ICTを活用した住民参画の促進～

講師：総務省自治政策局自治政策課（牧企画官または細田氏）

開催日：4月中旬前後

\* 第3回（46回） （担当：茶谷）

テーマ：「IT業界の今後の進展と課題」(仮題)

講師：経産省・経団連 開催日：6月度

\* 第4回（47回） （担当：前田）

テーマ：「海外のIT化事例/セキュリティー」(仮題)

講師：シマンテック 開催日：8月度

\* 会場は、都内中心に安価な会場（企業施設、大学、公共施設）を選定する。

4. 三鷹ネットワーク大学の視察を行った。



**[企画委員会]****[1]第1回企画委員会**

日 時 1月19日(木)19:00-20:33

会 場 電気通信大学西6号館511号

出 席 5名 福田、佐藤、国島、安藤、増淵

## 議 題

1 定例研究会企画運営方針

2 運営担当・割り当て

3 その他

## 1. 委員会構成

企画委員会委員長：福田 豊（電気通信大学）

企画委員会委員： 安藤 明之（東京経済大学）

（五十音順/敬称略）河又 貴洋（長崎県立シーボルト大学）

国島 義明（株富士通総研）

佐藤 佳弘（株情報文化総合研究所）

増淵 勝典（調布市）

2. 平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公開発表（B）」（11月17日提出）

福田委員長より、応募した科研の概要、国際シンポジウムについて説明および報告があった。19年度も応募する方向で協議する。

## 国際シンポジウム開催（別紙参照）

日 時：19年2月24日(土)13:00～17:00

会 場：東京国際フォーラム

テーマ：コミュニティ資源の形成とICT - 意思としてのコミュニティ形成 -

3. H18年度情報通信月間行事参加

5月長崎 6月東京

4. 定例研究会開催案

3、4、7、8月のいずれかに研究会開催をISAC部会担当者に依頼済、回答待ち

3月

4月

5月 第101回定例研究会（福岡）情報通信月間参加行事 担当河又

6月 第102回定例研究会情報通信月間参加行事 担当福田

7月 第103回定例研究会 担当国島

8月

9月 第104回定例研究会（部会担当）担当 福田

## 定例研究会概要（担当：九州支部/河又）

日 時 5月

会 場 長崎

テーマ 「情報通信技術が築くプライバシーとセキュリティー-安全と管理の狭間でゆれるリスク社会を考える-」

## 定例研究会概要（担当：企画委員会/福田）

日 時 6月3日、10日、17日のいずれか

会 場 全国町村会館（未定）

テーマ 仮題「情報化のパラダイムシフト 次世代社会経済システムを担う主体とは 」

定例研究会概要(担当:企画委員会/国島)

日時 7月

会場 未定

テーマ 医療情報関連

定例研究会概要(担当:情報社会経済システム研究部会/福田)

日時 9月全国大会の12-14日のいずれか1日

会場 学習院大学

テーマ 未定

定例研究会についての意見交換を行い、下記の意見があった。

- ・現地研究会開催については、今後復活の可能性を考えていく。その際、研究アクティビティ支援という性格を強化し、テーマ設定について工夫が必要である。
- ・学術的観点を重視する一方でマンネリ打破も必要
- ・企業改革、情報教育、情報開発など情報化の国際的展開を対象とする比較研究の促進等グローバルな視点をもった学会活動の実施が望まれる。

#### 5. その他 継続協議事項について

大学院生対象の定例研究会設置について

今年度は安藤委員が担当して、学術委員会と連携し、継続的に協議する。

就職活動、学位論文研究の初期段階、発表前などタイムリー性を考慮した上で、減額会員(院生を中心)対象とする発表の場を作る。

### [学術委員会]

#### [1]第3回学術委員会

日時 平成18年1月16日(月) 18時15分~18時40分

会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之(東経大) 遠藤薫(学習院大) 岡田勇(創価大) 五藤寿樹(聖徳大)  
桜井成一郎(明治学院) 佐藤佳弘(武蔵野大) 刀川真(NTTデータ)  
田中秀幸(東大) 廣松毅(東大)[敬称略]

< 議事 >

#### 1 前会議事録の承認

(1)了承

#### 2 学会発表データベース(J-STAGE)の移行について

(1)2/3に2004分まではJ-STAGEにアップされる予定。2005分は見積費が高いので、凸版フォームと再調整する。 五藤委員

#### 3 学会ホームページの整備について

(1)規則について、3月末までに最新版をアップする。 五藤委員

#### 4 全国大会

(1)9月初旬に2日間で開催する方向で検討中。

#### 5 その他

(1)「横幹連」への対応は別途、考える。 遠藤会長

(2)「情報学」柱A06との共催シンポには、廣松、遠藤、富山先生が対応。もう一名は、根本先生に依頼する。 廣松先生。

根本先生が対応できなければ、廣松先生に一任。

(3)新規継続研究部会の申請書を提出するよう福田先生に連絡する。 佐藤委員

(4)次回は平成18年2月27日(月)17:00~東京大学駒場キャンパス2号館3階で行う。

#### [2]第4回学術委員会

日時 平成18年2月27日(月) 17時10分~17時30分

会場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之(東経大) 遠藤 薫(学習院大) 岡田勇(創価大) 五藤寿樹(聖徳大)

小林宏一（東洋大） 佐藤佳弘（武蔵野大） 刀川眞（NTT データ） 田中秀幸（東大）  
中井 豊（芝浦工大） 廣松毅（東大）〔敬称略〕

< 議事 >

1 前会議事録の承認

(1) 了承

2 学会発表データベース（J-STAGE）の移行について

(1) 3/上旬に 2005 分まで、J-STAGE にアップされる予定。費用は凸版フォーム見積り額を支払うことが理事会で承認された（五藤委員）。

3 学会ホームページの整備について

(1) 規則については学会誌18号1巻に最新版が載るので、そのPDFをHPにも掲載する。

五藤委員、中井委員

4 全国大会

(1) 9月 12～14 日の間でやることで検討中。3月 11 日には確定する（遠藤委員）。

5 その他

(1) 「横幹連」への対応は、別途、検討する。 遠藤会長

(2) 「情報学」柱 A06 との共催シンポに、当学会からは廣松、遠藤、富山の各先生が参加する。当学会関係で他の候補の先生は都合がつかなかった（廣松委員）。

(3) 新規継続研究部会の申請書は福田先生から入手済み（廣松委員）。

(4) 次回は平成 18 年 5 月 9 日（月）18:00～東京大学駒場キャンパス 2 号館 3 階で行う

## 第12回社会情報システム学シンポジウム開催報告

環境情報研究部会 主査 太田敏澄 (電気通信大学)  
幹事 石田和成 (東京農業大学)

日本社会情報学会 (JASI)「環境情報」研究部会では、第12回社会情報システム学シンポジウムを、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会 (JASMIN)「社会情報と情報組織化」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションとの共催にて、2006年1月27日 (金) に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図した、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、49名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第13回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

このシンポジウムでは、特別講演として、「ユビキタス時代の課税のあり方 - 高速道路衛星課金などを事例として - 」(根本敏則氏、一橋大学大学院商学研究科教授)のご講演を戴きました。

このご講演は、情報技術の進展が課税や高速道路課金にも大きな影響を及ぼしている状況について、諸外国の事例なども踏まえた貴重なご講演であり、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、公募による一般セッション講演では、16件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- |             |           |          |
|-------------|-----------|----------|
| [1] 制度設計    | [2] 社会分析  | [3] 地域政策 |
| [4] 教育・意思決定 | [5] 地域の事例 | [6] 経営   |

の6つのセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた実践的、概念的ないし操作的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、ますますこの領域の研究が盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要ないし英文概要は、科学技術振興機構のデータベース (JDream のJSTPlus) に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集に余裕がございますので、ご希望の方に、実費 ¥1,000にて頒布致します。お申し込みは、第12回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、telまたはfax番号を添え、e-mail: ohta@is.uec.ac.jp または fax: 0424-43-5660 太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄  
FAX&TEL: 0424-43-5660, e-mail: [ohta@is.uec.ac.jp](mailto:ohta@is.uec.ac.jp)  
電気通信大学 大学院情報システム学研究科  
情報システム運用学専攻社会情報システム学講座  
URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

## 事務局だより

平成18年度も半期を終わろうとしております。

各会員の皆様には平素よりご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

### \* 会費納入のお願い

今年度および過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

### \* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて戴いていておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp)